

「笑顔でつなぐ移動販売」

能美市商工会女性部（石川県）



この軽トラックで走り回っています！

能美市は、石川県の南部加賀地区に位置し、平成17年に旧根上町・寺井町・辰口町の三町が合併し、人口約5万人の市として誕生しました。市の合併から1年後に商工会も合併し、現在女性部は県内に20ある女性部の中で部員数211名と最大規模を誇っています。

店が廃業して買物物が不便になった」「車や自転車に乗らなくなった」「欲しい物も買に行きづらくなった」との声をよく耳にするようになりました。この声に女性部として応えたい！との思いが募り、辿り着いたのが移動販売です。部員自ら軽トラックのハンドルを握り、部員のお店で扱う食品や日用品を積んで山間地域に出向きます。

商工会の助成金を活用し、市の社会福祉協議会の協力やコーディネートのアドバイスを受けて、平成24年2月に活動を開始しました。

現地調査や地元の方々との話し合い、保健所の指導、先進事例の勉強会などを行い、同年11月に試験販売を始めました。初めての経験に戸惑う



お客さんとのふれあいで元気をいただいています。

事ばかりでしたが、部員達は皆、とても楽しく訪問先の方々とお話をしながら販売することができました。

商工会女性部がこの活動を行うことで、次の特色が出ていると思います。

①会話を通じて信頼関係が構築でき、一人暮らしの高齢者や障がいのある方々など、地域の方の安否確認が

女性部長からの一言

北野ゆかり部長

この活動も4年目に入り、他地区からの要望も増えるなど、ますます活躍の場が広がります。雨風のひどい日や雪が降り積もる日など、出発をためらう時もありますが、地域の方から

できること

②一方的に売るばかりではなく、地域の方が作った花や野菜を買い取り、次の訪問先で販売することで地域間交流を促進できること



「全女性連の活動報告」

・全女性連 臨時総会

3月17日、芝パークホテルにて臨時総会を開催した。平成27年度事業計画及び収支決算書等が原案のとおり承認された。

また、平成27年度も引き続き「全国統一100円積立基金事業」及び「おもてなし交流事業」を実施することとなった。

・女性事業者等活性化セミナー
全女性連は、3月17日、18日

臨時総会

③移動販売で地元商店の売上にならなからず貢献すること



きれいなお花も販売

移動販売は現在、月2回行っています。1回で3〜4地区を回り、1日70人程の利益があり、売上は平均9万円、利益は一割程度です。

この活動を継続的に行うため、平成25年に「まちづくり研究会」を立ち上げ、賛同して下さる方から年間3000円を募り、運営費にあてています。買い物弱者はこれから増えると思われまますので、実施方法に工夫を重ねながら、



いろいろなところを訪問

本活動を継続・発展させていきたいと思っています。

の「こんなひどい日にありがとうー」の言葉に元気がでて、いつも増してこの活動が必要とされている！と実感します。また、私達自身も移動販売を通じて地域の方との会話や交流を楽しみにしています。能美市商工会女性部の移動販売車は、地域の皆さんの笑顔に会えるのを楽しみに、今日も山間地域を走り回ります。

『おもてなし交流事業』 大江山鬼伝説・鬼の里ぶらりツアー

福知山市商工会（京都府）

大江は神秘的な森と清流に神々が住むとされる幻想的なまちで、お越しいただく方には、その時々地域の魅力を感じる存分味わっていただくため、部員が知恵を出し合い、元伊勢三神社を巡り、古くからの地場産業として知られる和紙すきを体験していただくプランをご用意しました。

地域を超えた全国の女性部員の皆さんとのふれあいは、自分たちの活動内容

容を振り返り、そして今後の事業を検討する上でも大変有意義な経験となっています。同じように合併した商工会

女性部さんのお話をお聴きすることで、女性部の運営方法について考えることができたり、女性部での商品開発

などを行なう事業について伺った際は、福知山でも何かできるかもしれないという気持ちにさせていただきました。

そして何より、全国の女性部員さん



和紙すきを体験

んのパワーに触れることで、私たち福知山市商工会女性部も、もつともつと頑張ろう！と、日々の販売に女性部活動にと励む力となっています。

5月に開催される女性部イベント

《青森県 七戸町商工会女性部》
5月17日(日)女性部主催の「つじまつり観光バスツアー」を開催します。

七戸町に春の訪れを知らせるつじまつりにあわせて開催されるツアーで、町内の名勝・旧跡めぐりに加えて、女性部特製のお弁当も楽しむことができます。

(連絡先 TEL: 0176-621252)



基調講演：飯盛教授

に芝パークホテルにて女性事業者等活性化セミナーを開催した。1日目の基調講演は、慶應義塾大学総合政策学部の飯盛教授から地域づくりにどう取り組んでいくべきかご講演いただいた。2日目は、先進的な活動として、青森県三戸町の松尾和子さん、千葉県鴨川市の小川直世さん、愛媛県久万高原町の石丸孝子さん、土井千枝さんから事例発表いただき、それらを踏まえ分科会で、これからの女性部活動について議論した。